

# 都市再生整備計画 事後評価シート（案）

## 鹿島神宮周辺地区

令和6年3月  
茨城県鹿嶋市

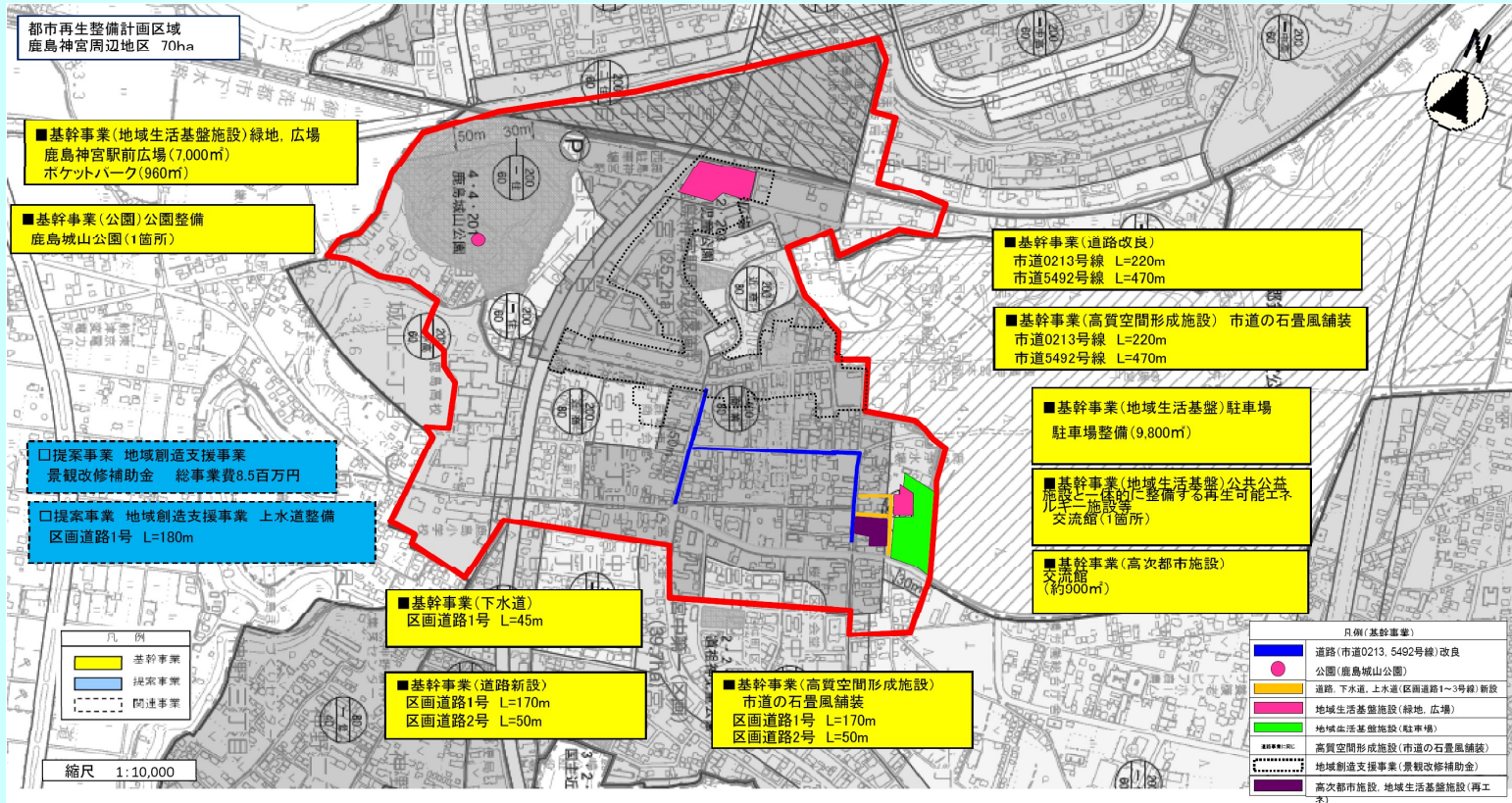
様式 2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	鹿嶋市		地区名	鹿島神宮周辺地区		面積	70ha													
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	1,542百万円	国費率	0.4														
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ○道路(改良:市道0213号線・市道5492号線、新設:区画道路1号・区画道路2号) ○地域生活基盤施設(神宮南駐車場) ○地域生活基盤施設(ポケットパーク) ○高賃空間形成施設(石畳風舗装:市道0213号線・市道5492号線・区画道路1号・区画道路2号)																				
		提案事業	○地域創造支援事業(景観改修補助金)																				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路	市道5040号線	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響														
			道路	区画道路3号	コロナ禍による市財政への影響や用地交渉の状況を考慮し廃止を判断したため				なし														
			地域生活基盤施設	神宮西駐車場	周辺空地の状況から整備の優先順位を見直したため				なし														
			地域生活基盤施設	観光案内サイン等	コロナ禍による市財政への影響や用地交渉の状況を考慮し廃止を判断したため				なし														
			高賃空間形成施設	半たわみ(石畳風舗装)市道5040号線	コロナ禍による市財政への影響や用地交渉の状況を考慮し廃止を判断したため				なし														
			高賃空間形成施設	半たわみ(石畳風舗装)区画道路3号	コロナ禍による市財政への影響や用地交渉の状況を考慮し廃止を判断したため				なし														
		提案事業	—	—	—				なし														
	新たに追加した事業	基幹事業	公園	鹿島城山公園	通年での賑わい創出を図るため				なし														
			下水道	区画道路1号	道路新設に併せ、新たな土地利用を推進するため				なし														
			地域生活基盤施設	鹿島神宮駅前広場	東京オリンピック会場として鹿島神宮駅の利用者増が見込まれるため				なし														
			地域生活基盤施設	交流館	脱炭素の取組として、施設に太陽光パネルを設置するため				なし														
		高次都市施設	子育て世代活動支援センター 交流館	施設整備に係る補助金を変更したため				なし															
	提案事業	上水道整備	区画道路1号	道路新設に併せ、新たな土地利用を推進するため				なし															
交付期間の変更	当初変更	平成30年度～令和4年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし																		
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	指標1	当該地区利用者数	人/年	従前値	1,404,291	H29	目標値	1,544,720	R4	数値	モニタリング	—	評価値	1,107,175	目標達成度	×	1年以内の達成見込み	あり	効果発現要因(総合所見)	●	フォローアップ予定時期	令和7年3月
		指標2	新規出店数	店舗/5年間	7	H25-29	10	H30-R4	—	15	○	あり	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		指標3	平休日平均歩行者通行量	人/12h	3,260	H29	4,000	R4	—	4,063	○	あり	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4) 定性的な効果発現状況	—																						
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容				実施状況				今後の対応方針等													
		—				都市再生整備計画に記載し、実施できた				—													
		—				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				—													
	住民参加プロセス	個別事業に関する説明会等の開催				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—													
—				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●															
持続的なまちづくり体制の構築	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた				—														
	—				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				—														
—				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—															

## 様式 2-2 地区の概要

鹿島神宮周辺地区整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
目標1: 鹿島神宮及び周辺地区の歴史的景観に合せた新たなシンボルロードの整備、回遊性を創出させる駐車場の整備を通じ、観光地としての価値を高め、来街者の増加を図る。 目標2: 当該地区内へ休憩施設や地域情報、案内看板等を整備することや鹿島城山公園の遊具の機能向上により、来街者の回遊性を生み出し、滞在時間の延長、地域の活性化を図る。 目標3: 空き店舗を活用した新規起業支援や新たな観光交流拠点を整備することで来街者を増加させ、周辺地区内での消費拡大を図る。	当該地区利用者数	人/年	1,404,291 H29	1,544,720 R4	1,107,175 R5
	新規出店数	店舗/5年間	7 H25-29	10 H30-R4	15 H30-R5
	平日平均歩行者通行量	人/12h	3,260 H29	4,000 R4	4,063 R4



まちの課題の変化	来訪者の属性(市内、市外)が不明であることから、この傾向を把握し、交流館を中心として、市民が訪れたいまちづくりを進める必要がある。	
	新型コロナウイルス感染症の影響により来街者の減少が見られていることから、地区の魅力向上や情報発信に取り組む必要がある。	
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	ソフト施策の充実・強化	地区の情報発信やイベント開催など、来街者にとって魅力となる要素の充実・強化を図る。
	地区の利用者数の増加に向けた連携	地区の利用者数を、新型コロナウイルス感染症以前の水準まで回復させるため、地区内の各事業者等の連携による取り組みを強化する。